

操作ガイド 5455

CASIO®

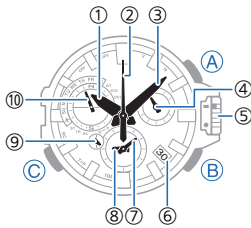
基本的な操作

ここでは、時計の概要を説明します。

参考

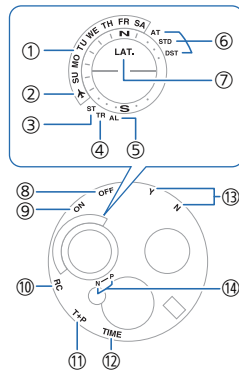
- この取扱説明書に記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

各部の名称



- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ 時針 (24 時間制)
- ⑤ りゅうず
- ⑥ 日付
- ⑦ 小分針
- ⑧ 小時針
- ⑨ 小時針 (24 時間制)
- ⑩ モード針

文字板の表示



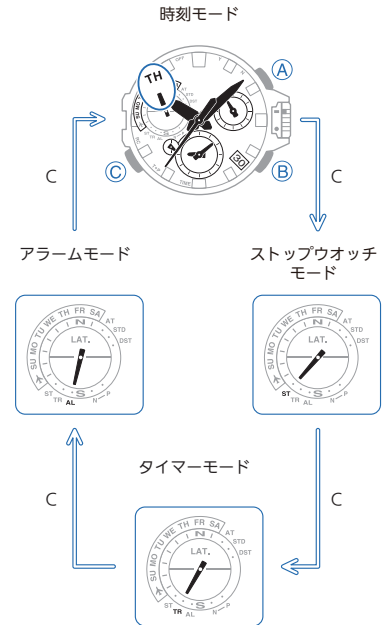
- ① 曜日
- ② 機内モード
- ③ ストップウォッチモード
- ④ タイマーモード
- ⑤ アラームモード
- ⑥ サマータイムの設定
- ⑦ 大まかな緯度を表示 (N 側が北緯、S 側が南緯)
- ⑧ アラームオフ
- ⑨ アラームオン
- ⑩ 標準電波を受信中
- ⑪ GPS 電波の時刻情報と位置情報を取得中
- ⑫ GPS 電波の時刻情報を受信中
- ⑬ GPS 電波または標準電波の受信結果 (取得結果)
- ⑭ 受信結果の確認時:
「P」前は GPS 電波の時刻情報と位置情報を受信 (取得)
「N」前は GPS 電波の時刻情報または標準電波を受信
ホーム都市またはワールドタイム都市の設定時:
「P」位置情報あり
「N」位置情報なし

モードを切り替える

この時計には、時刻モードを含め、4 つのモード (機能) があります。

時計が現在どのモードになっているかは、モード針の位置で確認できます。

- 時刻モード (通常状態): 曜日
- ストップウォッチモード: ST (STW)
- タイマーモード: TR
- アラームモード: AL



モードは、C ボタンで切り替えます。

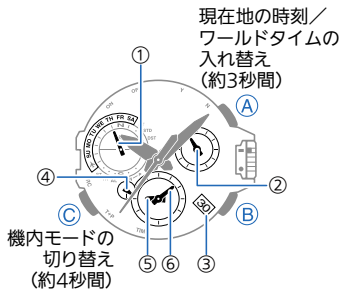
- C ボタンを 2 秒以上押し続けると、時刻モードに戻ります。
- C ボタンを 4 秒以上押し続けると、機内モードの設定や解除ができます。機内モードにすると、モード針は \pm を示します。

飛行機内での使用

各モードの概略

時刻モード

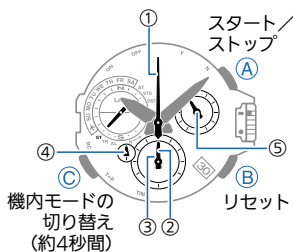
時針、分針、秒針が現在時刻を示します。
 小時針、小分針がワールドタイムを示します。



- ① 現在地の曜日
- ② 現在地の時 (24 時間制)
- ③ 現在地の日付
- ④ ワールドタイム時 (24 時間制)
- ⑤ ワールドタイム時
- ⑥ ワールドタイム分

ストップウォッチモード

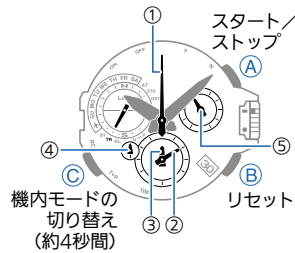
時針、分針が現在時刻を示します。
 秒針、小分針、小時針がストップウォッチの計測値を示します。



- ① ストップウォッチ秒
- ② ストップウォッチ分
- ③ ストップウォッチ時
- ④ ストップウォッチ時 (24 時間制)
- ⑤ 現在地の時 (24 時間制)

タイマーモード

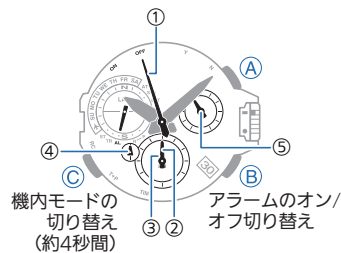
時針、分針が現在時刻を示します。
 秒針、小分針、小時針がタイマーの計測値を示します。



- ① タイマー秒
- ② タイマー分
- ③ タイマー時
- ④ タイマー時 (24 時間制)
- ⑤ 現在地の時 (24 時間制)

アラームモード

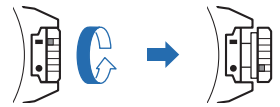
時針、分針が現在時刻を示します。
 小分針、小時針がアラーム時刻を示します。
 秒針がアラームのオン、オフを示します。



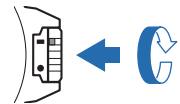
- ① アラームのオン/オフ
- ② アラーム分
- ③ アラーム時
- ④ アラーム時 (24 時間制)
- ⑤ 現在地の時 (24 時間制)

りゅうずを使う

りゅうずは簡易ロック式になっています。
 お使いになるときは、ロックを解除してください。



図のように●の位置にりゅうずを回すと解除できます。

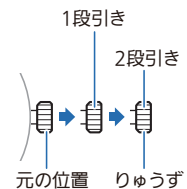


図のように、りゅうずを時計の方向に押し込みながら■の位置にりゅうずを回すとロックできます。

重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら必ずロックしてください。
- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

● 早送り/早戻しする



りゅうずを 1 段または 2 段引いた状態で素早く繰り返し回すと早送りまたは早戻しができます。早送り中に再度りゅうずを素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

- 早戻しの速度を上げることはできません。

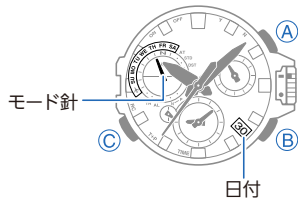
● 早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

針と日付の動き方について



●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

●日付について

- 午前 12 時(深夜 12 時)になると約 1 分半から約 3 分かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- りゅうずを引いた状態では日付が正しく表示されない場合があります。

充電する (ソーラー充電)

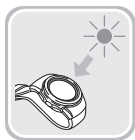
ソーラー充電とは

この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

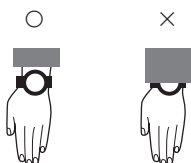
- この時計は特殊なバッテリー(二次電池)を使用しています。
 - 時計本体が約-10℃以下または約 60℃以上になると充電できません。
 - 時計が停止してから約 3 か月以上充電しないでいると過放電が検出されて、充電できなくなる可能性があります。

充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。



重要

- しばらく光に当て続けても秒針が動かないときは、過放電が検出されて充電ができなくなっている可能性があります。バッテリー(二次電池)の交換をお買い上げの販売店または本機に付属の取扱説明書に記載されている「修理サービス窓口」にご依頼ください。
- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57 秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。
- 充電が完了すると、約 7 か月間一度も充電せずに使用できます。また、充電不足の状態になってから約 20 日で時計が停止します。

充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

1 日、使用するために必要な充電時間

光量		充電時間
多 ↓ 少	①	8 分
	②	30 分
	③	48 分
	④	8 時間

充電量の回復に必要な時間

光量	充電時間		
	充電レベル 1	充電レベル 2	
多 ↓ 少	①	7 時間	36 時間
	②	25 時間	135 時間
	③	39 時間	218 時間
	④	438 時間	—

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000 ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000 ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000 ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500 ルクス)

充電レベル 1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル 2:

時計が動き出してから満充電まで

参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

充電量を確認する

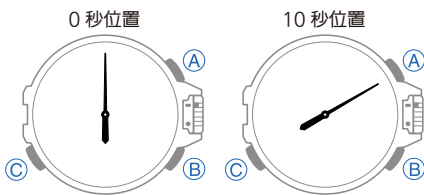
充電量は、針の動きで確認できます。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

重要

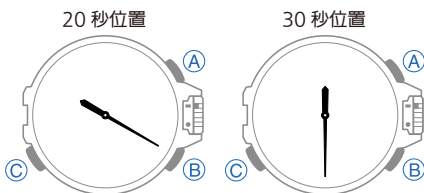
- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

C ボタンを押して時計を時刻モードに切り替えた直後、秒針が以下の位置に移動します。

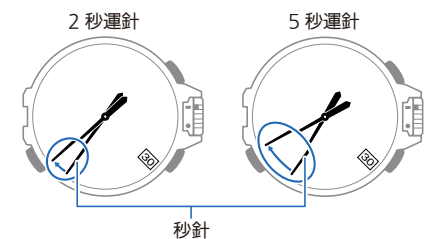
● 充電できているとき



● 充電不足のとき



また、秒針が 2 秒または 5 秒ごとに動きます。



- 上記の左図よりも右図のほうが、より充電量が少ない状態です。

● 充電切れのとき

すべての針が停止します。



節電(パワーセービング機能)

午後 10 時から午前 6 時の間に、時計を暗い場所に約 1 時間置いておくと秒針が停止し、レベル 1 の節電状態になります。この状態が 6 ~ 7 日続くと、すべての針が停止し、レベル 2 の節電状態になります。

レベル 1:

基本的な時計の機能は作動しています。

レベル 2:

日付のみが作動しています。

参考

- 時計を装着している場合でも、ソーラーパネルが袖などに隠れていると節電状態になることがあります。
- 節電状態になるのは、時刻モードのときです。

● 節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

時刻合わせ (GPS、標準電波)

GPS 電波または標準電波を受信すると、時計の時刻や日付、ホーム都市(タイムゾーン)を合わせることができます。

- GPS 電波(位置情報): ホーム都市(タイムゾーン)および時刻や日付が合います。
- GPS 電波(時刻情報): 時刻や日付が合います。
- 標準電波: 時刻や日付が合います。

重要

- GPS 電波の時刻情報や標準電波を受信する場合は、事前に GPS から位置情報を取得して、ホーム都市(タイムゾーン)を設定しておいてください。
- 飛行機内など電波の受信を禁止または制限されている場所では、機内モードに切り替えてください。
📍 飛行機内での使用

参考

- 標準電波は、受信できる地域が限られています。標準電波を受信できない地域で使う場合は、GPS 電波で時刻や日付を合わせてください。
📍 標準電波の受信範囲

GPS 電波で時刻を合わせる

受信に適した場所

ビルや樹木など視界を遮るものがなく、上空がよく見える屋外で GPS 電波を受信できます。



参考

- 受信しにくいときは、文字板を上に向けて動かさないようにしてください。
- 自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の文字板にかからないようにご注意ください。
- 以下の場所では、GPS 電波を受信できません。
 - 上空が見えない場所
 - 屋内(窓の近くでは受信できることがあります)
 - 無線通信機器など磁気を発する機器の近く
- 以下の場所では、GPS 電波を受信しにくくなります。
 - 上空の見える範囲が狭い場所
 - 樹木やビルの近く
 - 駅や空港など混雑した場所

手動で位置情報を取得する

ボタン操作で GPS から位置情報を取得して、ホーム都市(タイムゾーン)、時刻や日付を現在地に合わせます。

参考

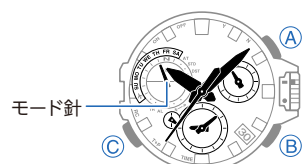
- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

準備

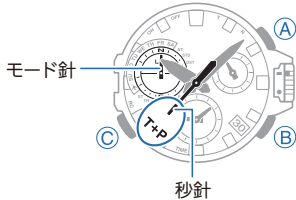
時刻モード(通常状態)でのみ受信します。

- 通常状態ではモード針が曜日を示します。

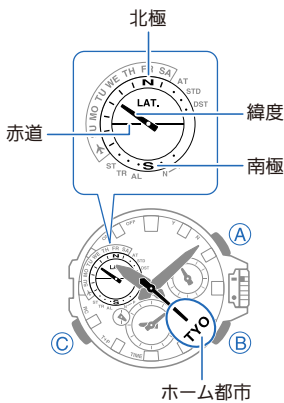
📍 モードを切り替える



1. 受信に適した場所に移動して、文字板を真上または空の方向に向けます。
2. B ボタンを 3 秒以上押します。秒針が「T+P」に移動したらすぐに指を離します。
 - 秒針が「Y(YES)」または「N(NO)」→「T(TIME)」→「T+P」の順で移動します。
 - 位置情報の取得が始まります。取得中はモード針が半円を描くように上下に何度か回転します。



- 位置情報の取得に成功すると、秒針が「Y(YES)」に移動した後、自動的に時刻と日付が合います。また、取得したホーム都市(タイムゾーン)と現在地の大まかな緯度が表示されます。



- 位置情報の取得に失敗すると、秒針が「N(NO)」に移動した後、受信前の状態で時刻と日付が表示されます。

参考

- 受信には、約 30 秒から約 2 分かかります。
 - うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。
 - タイムゾーンの境界線近くでは適切な位置情報を取得できないことがあります。設定されたホーム都市(タイムゾーン)が適切でない場合は、時刻と日付が正しく表示されません。タイムゾーン内の代表都市やタイムゾーンの中心に近い場所で改めて位置情報を取得してください。または、手動でホーム都市(タイムゾーン)とサマータイムを設定した後、時刻情報を受信して時刻と日付を合わせてください。
- [☞ タイムゾーンを設定する](#)
[☞ 手動で時刻情報を受信する](#)

手動で時刻情報を受信する

ボタン操作で GPS 電波の時刻情報を受信します。受信に成功すると、設定したホーム都市(タイムゾーン)に合わせて時刻と日付が表示されます。

参考

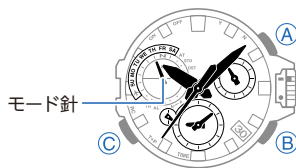
- GPS 電波の受信には、多くの電力を消費します。必要なときだけ操作してください。

準備

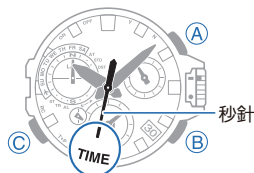
時刻モード(通常状態)でのみ受信します。

- 通常状態ではモード針が曜日を示します。

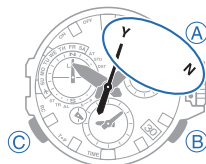
☞ モードを切り替える



1. 受信に適した場所に移動して、文字板を真上または空の方向に向けます。
2. B ボタンを 1 秒以上押します。秒針が「T(TIME)」に移動したらすぐに指を離します。
 - 秒針が「Y(YES)」または「N(NO)」→「T(TIME)」の順で移動します。
 - 時刻情報を受信が始まります。



- 受信に成功すると、秒針が「Y(YES)」に移動した後、自動的に時計の時刻と日付が合います。



- 受信に失敗すると、秒針が「N(NO)」に移動した後、受信前の状態で時刻と日付が表示されます。

参考

- 受信には、約 7 秒から約 1 分かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

自動で GPS 電波を受信する

以下の条件を満たすと GPS 電波を自動的に受信します。時刻情報は 1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

● 時刻情報

- 時刻モード(通常状態)のとき
- 午前 6 時から午後 10 時の間
- 文字板に光(晴れた日の窓辺くらいの明るさ)が約 1 分から約 2 分連続して当たっている
- 夜間に標準電波の受信が成功していない

参考

- 時刻情報の受信には約 7 秒から約 1 分かかります。
- うるう秒情報を受信する場合は、最大で 13 分かかることがあります。

うるう秒の受信について

毎年 6 月 1 日以降と 12 月 1 日以降、GPS 電波ではうるう秒情報を受信します。

参考

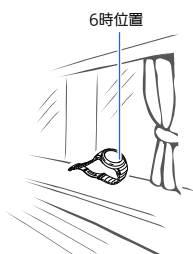
- うるう秒情報の受信が完了するには、最大で 13 分かかる場合があります。
- うるう秒情報の受信に成功しない場合、成功するまで受信動作を繰り返します。
- うるう秒情報の受信が完了すれば、次の 6 月 1 日または 12 月 1 日までうるう秒情報を受信しません。

標準電波で時刻を合わせる

受信に適した場所

窓際で電波を受信できます。

- 金属は避けてください。
- 時計を動かさないでください。
- 時計を操作しないでください。



参考

- 以下の場所では、標準電波を受信しにくくなります。
 - ビルの中およびその周辺
 - 乗り物の中
 - 家庭電化製品、OA 機器、携帯電話などの近く
 - 工事現場、飛行場など電波障害が起きる場所
 - 高圧線の近く
 - 山間部、山の裏側

標準電波の受信範囲

● 日本(JJY)

日本の標準電波送信所は、福島県のおおたかどや山と福岡県/佐賀県のはがね山に位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,000km 以内です。

● 中国(BPC)

中国の標準電波送信所は、中国河南省の商丘市に位置します。

標準電波の受信範囲は、商丘送信所を中心として約 1,500km 以内です。

● アメリカ(WWVB)

アメリカの標準電波送信所は、コロラド州フォートコリンズに位置します。

標準電波の受信範囲は、フォートコリンズ送信所を中心として約 3,000km 以内です。

● イギリス(MSF)/ドイツ(DCF77)

イギリスの標準電波送信所は、カンブリア州アンソーンに位置します。

ドイツの標準電波送信所は、フランクフルト南東のマインフリンゲンに位置します。

標準電波の受信範囲は、各送信所を中心として約 1,500km 以内です。

参考

- 標準電波の受信範囲内でも地形、天候、時期(季節)、時刻、無線ノイズの影響により受信できないことがあります。

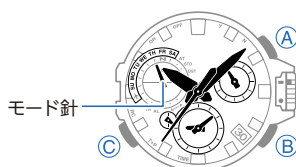
自動で標準電波を受信する

午前 12 時(深夜 12 時)から午前 5 時の間に標準電波を受信して、自動で時刻や日付を合わせます。1 日 1 回受信に成功すれば、その日は自動受信をしません。

時刻モード(通常状態)でのみ受信します。

- 通常状態ではモード針が曜日を示します。

🕒 モードを切り替える



窓際のような受信に適した場所に時計を置きます。

- 標準電波を受信中は、秒針が[RC]を示します。
- 受信に成功すると、自動的に時計の時刻と日付が合います。

参考

- 受信には約 2 分から約 10 分かかります。最大で約 20 分かかる場合もあります。

受信結果を確認する

前回の GPS 電波または標準電波の受信結果を確認します。

準備

時刻モードにします。

🕒 モードを切り替える

1. B ボタンを押します。

秒針が受信結果を示します。

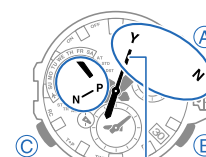
「Y (YES)」: 受信成功

「N (NO)」: 受信失敗

モード針が受信(取得)内容を示します。

「P」: 時刻情報と位置情報(GPS 電波)

「N」: 時刻情報(GPS 電波)または標準電波

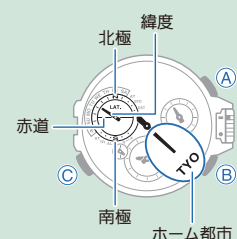


秒針

2. B ボタンを押す、または何も操作をしないまま 1~2 秒経過すると現在時刻に戻ります。

参考

- 受信が成功していても、その後に手で時刻や日付を変更した場合は、秒針が「N(NO)」を示します。
- 位置情報を取得した場合は、何も操作をしないまま 1~2 秒経過すると、取得したホーム都市(タイムゾーン)と現在地の大きな緯度を確認できます。



受信のご注意

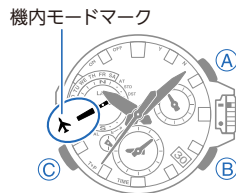
- 電波の受信による時刻合わせができないときは、平均月差±15秒の精度で動きます。
- 時計が以下の状態のときは、GPS電波と標準電波を受信できません。
 - 充電不足のとき
 - 機内モード、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードのとき
 - 節電レベル2のとき(GPS電波は節電レベル1のときも受信できません)
 - りゅうずを引いているとき
 - タイマーで計測中
 - 時計の温度が約-10℃以下または約60℃以上になったとき
- 電波を受信して時刻合わせをするときに、時計内部の演算処理などにより若干(1秒未満)のずれが発生します。
- 受信に成功すると、ホーム都市(タイムゾーン)、サマータイムの設定に従って、自動的に時計の時刻や日付が合います。ただし、以下のような場合は、サマータイムが正しく反映されません。
 - サマータイム開始日時、終了日時の規定が変わった
 - 位置情報が正しく取得できていない
 - 位置情報は取得できたが、都市の境目などで異なる情報を受信した
- 中国は2014年12月の時点でサマータイム制度を導入していません。今後この制度を導入した場合は、正しい時刻が表示されないことがあります。

飛行機内での使用

飛行機内など、GPS電波や標準電波を受信しないようにしたい場合は、機内モードにしてください。

時計を機内モードにする

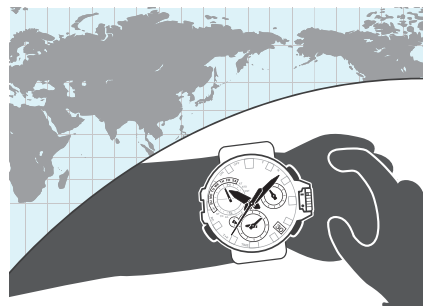
Cボタンを約4秒間押し続けると時計が機内モードになり、モード針が機内モードマークに移動します。



- Cボタンを約4秒間押し続けるたびに、機内モードの設定と解除が切り替わります。

ワールドタイム

世界27都市、40タイムゾーンの時刻を知ることができます。



準備

時刻モードにします。

🔄モードを切り替える

タイムゾーンを設定する

ワールドタイムを表示する都市(タイムゾーン)を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

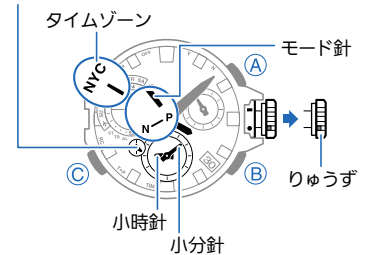
参考

- 各都市(タイムゾーン)のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は「AT(AUTO)」です。多くの場合、「AT(AUTO)」であれば、設定を変更する必要はありません。

- りゅうずを1段引きます。

秒針が現在設定しているワールドタイムのタイムゾーンに移動します。

小時計(24時間制)



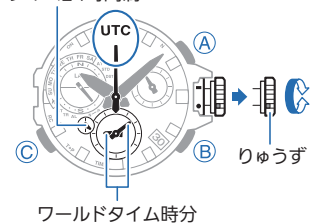
モード針が現在設定しているワールドタイムの位置情報の取得状況を示します。
「P」:あり
「N」:なし

- りゅうずを回してタイムゾーンを変更します。

選んだタイムゾーンの時刻が小時計と小分針で表示されます。

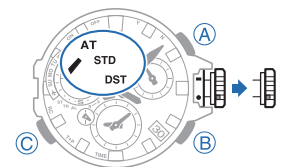
- Bボタンを約1秒間押し続けると、UTC(協定世界時)の時刻が表示されます。

ワールドタイム24時間制



- サマータイムの設定を変更する場合は、Aボタンを押します。

- モード針が「AT(AUTO)」、「STD」、「DST」のいずれかを示しているときに、Aボタンを約1秒間押し続けると以下の順で設定が切り替わります。
「AT(AUTO)」→「STD」→「DST」



- 「AT(AUTO)」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- 「STD」
常にスタンダードタイムで表示します。
- 「DST」
常にサマータイムで表示します。

4. りゅうずを戻します。

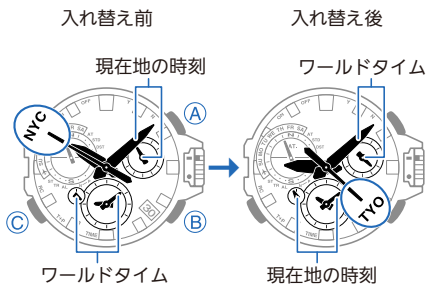
参考

- 都市(タイムゾーン)で「UTC」を選んだときは、「STD」と「DST」の切り替えはできません。

現在地とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

A ボタンを約 3 秒間押し続けると、現在地とワールドタイムの時刻が入れ替わります。

- A ボタンを押すとライトが光ります。そのまま約 3 秒間押し続けてください。



- 操作の結果、日付が変更されるときは、モード針が繰り返し回転します。

🔗 [針と日付の動き方について](#)

参考

- 海外に渡航するときに、この機能をお使いいただくと便利です。使い方は「海外に渡航するときは」をご覧ください。

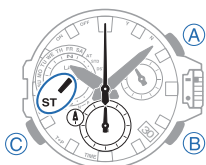
ストップウォッチ

1 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒(24 時間計)まで計測できます。

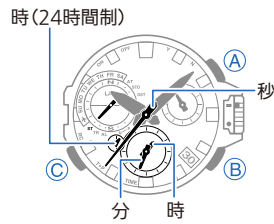
準備:

ストップウォッチモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)



計測する



1. 以下の操作で計測します。

- ① スタート
- ↓
- ② ストップ
- ↓
- ③ 再スタート
- ↓
- ④ ストップ

2. B ボタンを押して、計測をリセットします。

3. C ボタンを 3 回押して、時刻モードに戻ります。

タイマー

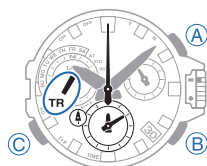
設定した時間をカウントダウンします。残り時間がゼロになると音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔗 [節電\(パワーセービング機能\)](#)

準備

タイマーモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

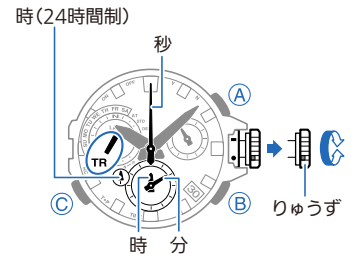


時間を設定する

1. りゅうずを 1 段引きます。

2. りゅうずを回して時間を設定します。

- タイマーは、1 分単位で 24 時間まで設定できます。



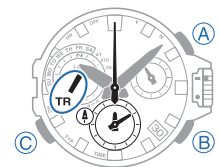
3. りゅうずを戻します。

参考

- 小時計と小分針を 12 時位置に合わせると、24 時間のカウントダウンタイマーを設定できます。

タイマーを使う

1. A ボタンを押して、タイマーを開始します。



残り時間がゼロになると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

- カウントダウン中に A ボタンを押すと、タイマーを一時停止できます。一時停止中に B ボタンを押すと、タイマーをリセットできます。

2. いずれかのボタンを押して、音を止めます。

3. C ボタンを 2 回押して、時刻モードに戻ります。

アラーム

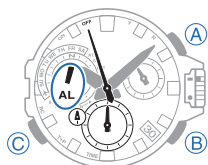
指定した時刻に音でお知らせします。

- 以下のときは音が鳴りません。
 - 充電不足のとき
 - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔗 [節電\(パワーセービング機能\)](#)

準備

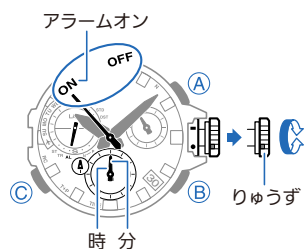
アラームモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)



アラームをセットする

1. りゅうずを 1 段引きます。
アラームがオンになります。
2. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。



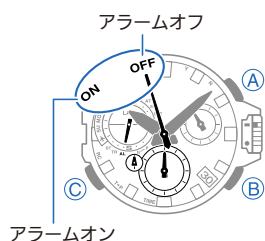
3. りゅうずを戻します。
4. C ボタンを 1 回押して、時刻モードに戻ります。

参考

- セットした時刻になると、音を 10 秒間鳴らしてお知らせします。

アラームのオン/オフを切り替える

B ボタンを押すと、アラームのオンとオフを切り替えることができます。



アラームを止める

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

ライト

暗い所で時計の表示を見るときに、LED ライトを点灯させて画面を明るくすることができます。ライトは徐々に明るくなり、約 2 秒間点灯した後、徐々に暗くなります。

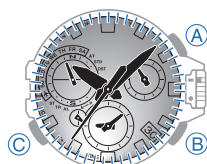
準備

時刻モードまたはアラームモードにします。

🔗 [モードを切り替える](#)

ライトを点灯する

A ボタンを押すと、ライトが針を照らします。



- ライト点灯中にアラーム音が鳴ると、消灯します。
- 針が早送りされているとき、ライトは点灯しません。

時刻合わせ(手動)

GPS 電波や標準電波を受信できないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

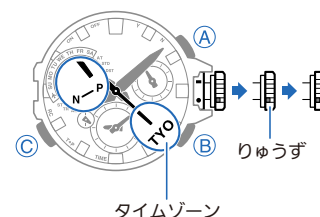
タイムゾーンを設定する

この時計を使用する都市(タイムゾーン)を設定します。サマータイムを実施している地域の場合は、サマータイムを設定することができます。

参考

- 各都市(タイムゾーン)のサマータイムの初期設定(工場出荷時の状態)は「AT (AUTO)」です。多くの場合、「AT (AUTO)」であれば、設定を変更する必要はありません。
- 次の場合、GPS から位置情報を取得すると、自動的に「AT (AUTO)」に設定されます。
 - タイムゾーンが受信前と異なる
 - 受信前と同じタイムゾーンだが、サマータイムの規定(開始日時、終了日時)が異なる地域の位置情報を取得した

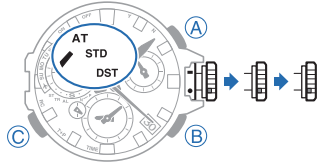
1. りゅうずを 2 段引きます。
現在設定しているタイムゾーンに秒針が移動します。
モード針が現在設定しているタイムゾーンの位置情報の受信状況を示します。
「P」:あり
「N」:なし



2. りゅうずを回して、タイムゾーンを変更します。
 - 文字板に都市名が表示されていないタイムゾーンに設定することもできます。
 - タイムゾーンについては、「都市(タイムゾーン)一覧」をご覧ください。

3. サマータイムを設定する場合は、A ボタンを押します。

- モード針が「AT (AUTO)」、「STD」、「DST」のいずれかを示しているときに、A ボタンを約 1 秒間押し続けると以下の順で設定が切り替わります。
「AT (AUTO)」→「STD」→「DST」



- 「AT (AUTO)」
スタンダードタイムとサマータイムが自動で切り替わります。
- 「STD」
常にスタンダードタイムで表示します。
- 「DST」
常にサマータイムで表示します。

4. りゅうずを元に戻します。

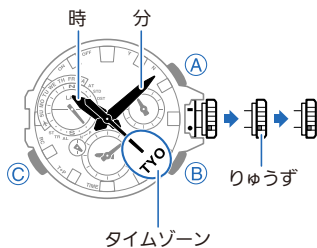
サマータイムとは

サマータイムとは、DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻 (STD: スタンダードタイム) から 1 時間または 30 分など時間を進める夏時間制度のことです。サマータイムの実施期間や実施地域は、国によって異なります。また、サマータイム制度を採用していない国や地域もあります。

時刻や日付を設定する

1. りゅうずを 2 段引きます。

現在のタイムゾーンに秒針が移動します。



2. C ボタンを約 10 秒間押し続けます。

秒針が 12 時位置に移動し、「分」を設定できる状態になります。

3. りゅうずを回して「分」を合わせます。

4. C ボタンを押します。

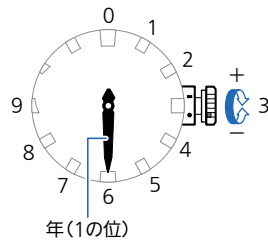
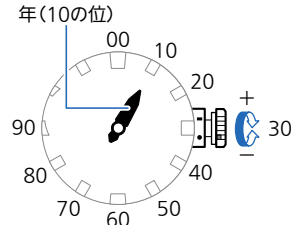
時針が小さく動き、「時」を設定できる状態になります。

5. りゅうずを回して「時」を合わせます。

6. C ボタンを押します。

「年」を設定できる状態になります。

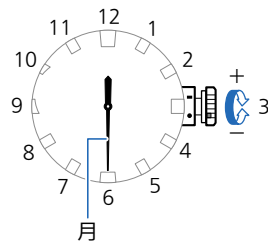
- 年は西暦の下二桁 (20XX) で指定してください。



7. りゅうずを回して時針を「年(10の位)」、分針を「年(1の位)」に合わせます。

8. C ボタンを押します。

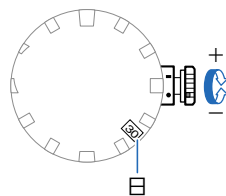
「月」を設定できる状態になります。



9. りゅうずを回して「月」に合わせます。

10. C ボタンを押します。

モード針が小さく動き、「日」を設定できる状態になります。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。

[針と日付の動き方について](#)

11. りゅうずを回して「日」を合わせます。

12. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

針や日付の補正

強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の表示がずれることがあります。そのようなときは、針や日付のずれを補正します。

- 時針、分針、秒針、時計針 (24 時間制) は、自動で補正されます。

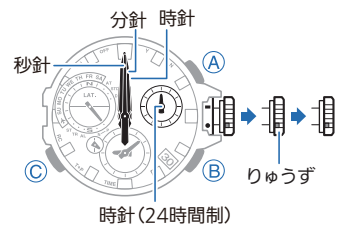
針や日付のずれを補正する

1. りゅうずを 2 段引きます。

2. B ボタンを、秒針が 12 時位置を示すまで、約 5 秒間押し続けます。

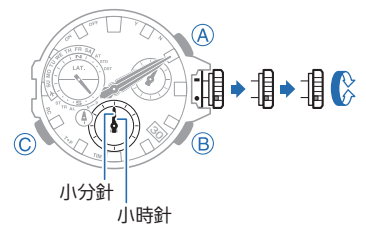
時針、分針、秒針、時計針 (24 時間制) の自動補正が始まります。

- 補正が完了すると、針の位置は以下のようになります。



3. C ボタンを押します。

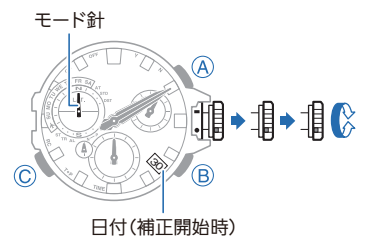
小時計針と小分針が 12 時位置で停止することを確認します。



4. 小時計針と小分針が 12 時位置になっていないときは、りゅうずを回して小時計針と小分針を 12 時位置に合わせます。

5. C ボタンを押します。

モード針が 12 時位置で停止し、日付が正しく表示されることを確認します。

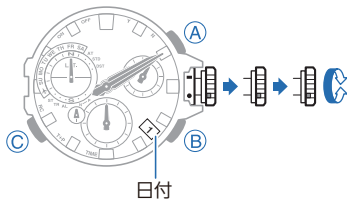


6. モード針や日付がずれているときは、りゅうずを回してモード針を 12 時位置、日付を日付窓の中央部に合わせます。

- りゅうずを回しても、モード針と日付を動かせる範囲には限りがあります。モード針は最大で左右にそれぞれ 180 度回転します。日付の動きはわずかです。
- モード針と日付の位置合わせができたときは手順 9 に進んでください。位置合わせができないときは手順 7 に進んでください。

7. C ボタンを押します。

日付が「1」で停止することを確認します。



- 日付を合わせるときは、モード針が繰り返し回転します。モード針は 30 分くらい回転を続けることがあります。

針と日付の動き方について

8. 日付が「1」になっていないときは、りゅうずを回して日付を「1」に合わせます。

- りゅうずを回すとモード針も連動します。モード針は 12 時位置になるように合わせます。

9. りゅうずを戻します。

参考

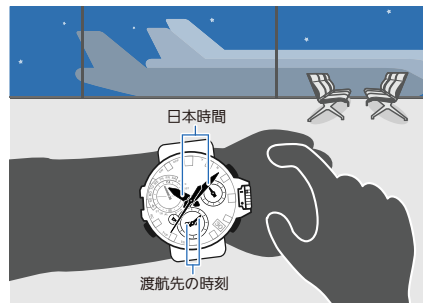
- りゅうずを引いた状態で約 30 分間何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻し、操作を最初からやり直してください。りゅうずを戻すと、それまでに補正した針は、補正された状態になります。

海外に渡航するときは

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

● 搭乗前

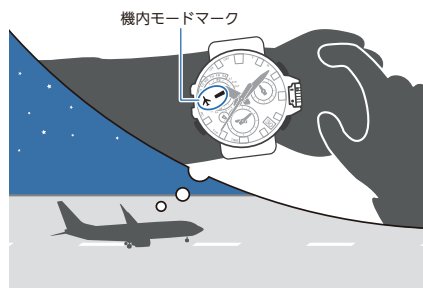
渡航先の時刻をワールドタイムに設定します。



🕒 タイムゾーンを設定する

● 離陸前

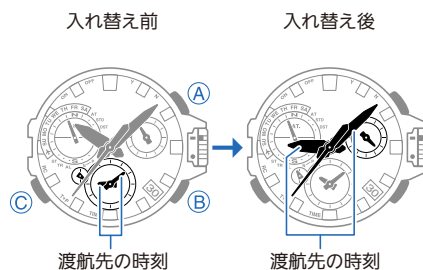
アナウンスに従って、機内モードに設定します。



🕒 時計を機内モードにする

● 到着後

1. 機内モードを解除します。
🕒 時計を機内モードにする
2. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



🕒 現在地とワールドタイムの時刻表示を入れ替える

補足

都市(タイムゾーン)一覧

文字板に都市名がないタイムゾーンは、「都市コード」の欄に「-」、「都市名」の欄に代表的な都市名を記載しています。

都市コード	都市名	秒針位置	UTCからの時差
UTC	協定世界時	0 秒	0
LON	ロンドン	2 秒	0
PAR	パリ	4 秒	+ 1
ATH	アテネ	6 秒	+ 2
JED	ジェッダ	8 秒	+ 3
-	(テヘラン)	9 秒	+ 3.5
DXB	ドバイ	10 秒	+ 4
-	(カブール)	11 秒	+ 4.5
-	(カラチ)	12 秒	+ 5
DEL	デリー	13 秒	+ 5.5
-	(カトマンズ)	14 秒	+ 5.75
DAC	ダッカ	15 秒	+ 6
-	(ヤンゴン)	16 秒	+ 6.5
BKK	バンコク	17 秒	+ 7
HKG	香港	19 秒	+ 8
-	(ユークラ)	21 秒	+ 8.75
TYO	東京	22 秒	+ 9
-	(アデレード)	23 秒	+ 9.5
SYD	シドニー	24 秒	+ 10
-	(ロード・ハウ島)	25 秒	+ 10.5
NOU	ヌーメア	26 秒	+ 11
-	(ノーフォーク島)	27 秒	+ 11.5
WLG	ウェリントン	28 秒	+ 12
-	(チャタム島)	30 秒	+ 12.75
TBU	ヌクアロファ	31 秒	+ 13
CXI	クリスマスアイランド	33 秒	+ 14
BAR	バークレー島	36 秒	-12
PPG	パゴパゴ	38 秒	-11
HNL	ホノルル	40 秒	-10
-	(マルキーズ諸島)	41 秒	-9.5
ANC	アンカレジ	42 秒	-9
LAX	ロサンゼルス	44 秒	-8
DEN	デンバー	46 秒	-7
CHI	シカゴ	48 秒	-6
NYC	ニューヨーク	50 秒	-5
-	(カラカス)	51 秒	-4.5
YHZ	ハリファックス	52 秒	-4
-	(セントジョンズ)	53 秒	-3.5
RIO	リオデジャネイロ	54 秒	-3
FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ	56 秒	-2
RAI	プライア	58 秒	-1

• この表は 2014 年 12 月現在のものです。

サマータイム期間一覧

サマータイムを導入している都市でサマータイムの設定を[AT (AUTO)]にすると、以下のタイミングで時刻が切り替わります。

参考

- 現在地のサマータイムの開始、終了タイミングが変更になるなどで下表と異なる場合は、手動で「STD」または「DST」に切り替えてください。
- 文字板に都市名がないタイムゾーンでGPSの位置情報を取得すると、サマータイムには自動的に対応します。

都市名	サマータイム開始	サマータイム終了
ロンドン	3月最終日曜 1時	10月最終日曜 2時
パリ	3月最終日曜 2時	10月最終日曜 3時
アテネ	3月最終日曜 3時	10月最終日曜 4時
シドニー	10月第1日曜 2時	4月第1日曜 3時
ウェリントン	9月最終日曜 2時	4月第1日曜 3時
アンカレジ	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
ロサンゼルス	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
デンバー	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
シカゴ	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
ニューヨーク	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
ハリファックス	3月第2日曜 2時	11月第1日曜 2時
リオデジャネイロ	10月第3日曜 0時	2月第3日曜 0時 または2月第4日曜 0時

• この表は 2014 年 12 月現在のものです。

地図データベースについて

この時計は、東京カーグラフィック株式会社の地図データベースを使用しています。

制約事項

● 温度による機能制限について

時計の温度が約-10℃以下または約 60℃以上では、以下の機能が使用できなくなります。

- GPS 電波や標準電波の受信
- ソーラー充電
- 音(アラームなど)
- ライト
- 針や日付のずれ補正

困ったときは

電波受信(GPS 電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [☞ 充電する](#)

時計は時刻モード(通常状態)になっていますか？

機内モードやその他のモードのときは電波を受信できません。時刻モード(通常状態)に戻してください。

↓ [☞ モードを切り替える](#)

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、GPS 電波を受信できません。

- 節電状態のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中
- 時計の温度が約-10℃以下、または約 60℃以上のとき

Q2 受信中の状態から変化がない(秒針が「T+P」や「T(TIME)」を示したままになっている)

うるう秒を受信している可能性があります。

☞ [うるう秒の受信について](#)

Q3 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

↓ [☞ 受信に適した場所](#)

文字板を真上や空の方向に向けていますか？

受信中はできるだけ時計を動かさないでください。
自動的に受信する場合は、衣服の袖が時計の文字板にかからないようにご注意ください。

受信中にアラームが鳴っていませんか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。

☞ [アラームのオン/オフを切り替える](#)

Q4 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

ホーム都市(タイムゾーン)は正しく設定されていますか？

ホーム都市(タイムゾーン)を正しく設定してください。

☞ [手動で位置情報を取得する](#)

↓ [☞ タイムゾーンを設定する](#)

針や日付の位置にずれを感じますか？

針や日付のずれを補正してください。

↓ [☞ 針や日付の補正](#)

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

電波受信(標準電波)

Q1 電波を受信できない

時計は充電されていますか？

充電不足の場合は、電波を受信できません。充電量が回復するまで光を当ててください。

↓ [☞ 充電する](#)

時計は時刻モード(通常状態)になっていますか？

機内モードやその他のモードのときは電波を受信できません。時刻モード(通常状態)に戻してください。

↓ [☞ モードを切り替える](#)

ホーム都市(タイムゾーン)は正しく設定されていますか？

ホーム都市(タイムゾーン)が間違っていると、正しい時刻を表示しません。ホーム都市(タイムゾーン)を正しく設定してください。

☞ [手動で位置情報を取得する](#)

↓ [☞ タイムゾーンを設定する](#)

それでも電波を受信できない

時計が以下の状態のときは、標準電波を受信できません。

- 節電状態レベル 2 のとき
- りゅうずを引いているとき
- タイマー計測中
- 時計の温度が約-10℃以下、または約 60℃以上のとき

受信に成功しないときは、時刻や日付を手動で合わせてください。

Q2 電波の受信が成功しない

受信に適した場所ですか？

周辺の環境を確認し、電波を受信しやすい所で受信してください。

☞ [受信に適した場所](#)

受信中は時計に触れるのを控えていますか？

受信中はできるだけ時計を動かしたり、操作したりしないでください。

受信中はアラームが鳴らない設定ですか？

受信中にアラームが鳴ると受信が中止します。アラームをオフにしてください。

☞ [アラームのオン/オフを切り替える](#)

送信所から電波が送信されていますか？

送信所から標準電波が送信されていない可能性があります。

独立行政法人情報通信研究機構(NICT)日本標準時グループのホームページ等をご確認ください。

Q3 受信に成功したはずなのに、時刻や日付が合わない

針や日付の位置にずれを感じますか？

針や日付のずれを補正してください。

☞ [針や日付の補正](#)

それでも日時が合わない

時刻や日付を手動で合わせてください。

☞ [時刻合わせ\(手動\)](#)

アラーム

Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する](#)

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

☞ [アラームのオン/オフを切り替える](#)

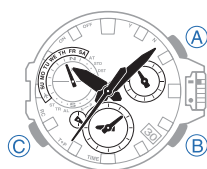
針の動きと表示

Q1 現在の表示モードがわからない

C ボタンを2秒以上押し続け、時刻モードに戻ってください。

• C ボタンを4秒以上押し続けると機内モードの設定と解除が切り替わります。ご注意ください。

☞ [モードを切り替える](#)



Q2 秒針が2秒または5秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する](#)

Q3 すべての針が停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ [充電する](#)

Q4 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

• パワーセービング機能が解除され、復帰している。

☞ [節電\(パワーセービング機能\)](#)

• GPS 電波または標準電波を受信して、時刻合わせをしている。

☞ [時刻合わせ\(GPS、標準電波\)](#)

Q5 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードです。回復するまで(約15分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

Q6 現在時刻の表示が9時間、3時間15分など区切りのよい時間ですれている

都市(タイムゾーン)の設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [手動で位置情報を取得する](#)

☞ [タイムゾーンを設定する](#)

Q7 現在時刻の表示が1時間や30分など区切りのよい時間ですれている

サマータイム設定が正しくありません。正しく設定してください。

☞ [手動で位置情報を取得する](#)

☞ [タイムゾーンを設定する](#)

Q8 針や日付の表示位置がずれている

強い磁気や衝撃の影響で針の位置にずれが生じることがあります。針のずれを補正してください。

☞ [針や日付の補正](#)

りゅうずの操作

Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま2分以上(針や日付のずれ補正の場合は約30分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

☞ [りゅうずを使う](#)